



阪神・淡路大震災の被災建物とその復興

2011年3月に発生した東日本大震災の復興の様子はしばしばテレビなどで報道されていますが、いまだに手つかずのまま残されている地域も見られるように、迅速に進められているとは言えないようです。一方、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災の復興には長い時間がかかっています。仮設住宅の入居者は2000年にゼロになり、この年政府の阪神・淡路復興対策本部が解散、さらに兵庫県では2005年に災害対策総合本部・復興本部を廃止しました。政府・行政の復興対策が終了するまでに10年の歳月を要していますが民間の災害復興はその後も続き、終わることはないとも言われています。大震災からどのように復興していったか、阪神・淡路大震災の復興の経験に学ぶことを目的として今回の講演会を企画しました。多くの皆様のご聴講をお待ちします。

主催 (一社)北海道建築技術協会
日時 2013年1月30日(水) 13時30分～16時45分(受付開始 13時15分より)
会場 札幌エルプラザ(札幌市男女共同参画センター) 3階 ホール
(札幌市北区北8条西3丁目)
参加料 無料(資料が必要な方:2,000円)

申込み 別紙にて協会あて FAX (011-251-2800)
申込期日 1月23日(水)までにお申し込みください

[次 第]

司会 北海道建築技術協会 常任理事 野田 恒

- 13:30 開会の挨拶 北海道建築技術協会 会長 川治 正則
13:40 基調講演「阪神・淡路大震災によるマンション被害と復興過程」
大阪市立大学名誉教授 NPO 法人集合住宅維持管理機構理事長 梶浦 恒男 氏
14:40 [休憩]
14:50 「ある被災マンションの再建事業はなぜ成功したのか」
元アーバンライフ株式会社 本山アーバンライフ再建事業担当 関根 武雄 氏
15:40 「阪神・淡路大震災被災建物の Before・Then・After」
SWAN 建築事務所代表(竹中工務店 OB) 白鳥 隆昭 氏
16:30 質疑応答
16:45 閉会の挨拶 北海道建築技術協会 副会長 石山 祐二

17:15～19:15 講師を囲む懇親会

アспенホテル(札幌市北区北8条西4-5) 2階「エルム」、会費 5,000円

参加申込書

(一社)北海道建築技術協会 事務局 あて (1月23日までにお申込み下さい)

FAX. 011-251-2800

イベント名：HoBEA 講演会 2013

「阪神・淡路大震災の被災建物とその復興」

会社名 (所属団体)

ご担当者名

ご連絡先

ご住所 〒 □□□-□□□□

TEL.

/ FAX.

e-mail

参加者氏名	資料 (2,000 円) (○をご記入下さい)	懇親会 5,000 円 (○をご記入下さい)

お問合せ：(一社)北海道建築技術協会 事務局

TEL 011-251-2794